

# KOBE CCO

November 2002

# 11

月刊神戸っ子 Vol.498



素描 トルコ桔梗(女のいる風景) 石坂春生

特集●神戸の住宅—山と海に抱かれた神戸のライフステージ  
シャーリーン・ダイヤが歩く●旧居留地界限  
提言座談会●ファッション都市神戸の新しいグランドビジョン



PEARL COMMUNICATION



kinoshita  
pearl

パールサロン神戸

神戸市中央区山本通1-7-7(北野坂)  
TEL.078-221-3170  
FAX.078-221-9427





黄昏の散歩道

JEWELRY **タジマ**

神戸市元町2丁目TEL.078(331)5761

——1000勝と王位奪還おめでとうございます。

40歳になるまでに1000勝は達成したいとは思っていません。それはできませんでしたが王位戦というタイトル戦の場で羽生善治さんに勝つことができたということにいつその喜びを感じました。

——1000勝達成は最年少ということですが。

昔と今とは公式戦の数が違いますから、簡単に比較はできませんが、記録を更新できたということとは嬉しいですね。

——年間どれぐらいの対局が組まれているのですか。

私の場合は年間60局ほどでしょうか。勝つ人は忙しいですね。予選の対局は東京と大阪の将棋会館とその他、テレビのスタジオですけれど。大きな対局となると、全国のホテルや旅館を回ってということになります。タイトル戦のある時期は、月の半分は遠征で、半分は神戸といった感じでしょうか。

——羽生善治さんと争った王位戦は、有馬温泉中の坊瑞苑での対局もありました。

有馬温泉は、10回ぐらいは訪れ

ていますかねえ。自宅から一番近い対局場ということでは、移動に時間がかからないので助かりますけど。

——以前に新聞の記事で、先生が羽生さんについて、勝てるような気がしないという記事を読ませていただきましたが。

それはちょっと違いますね。過去の話としてそのようなコメントがあつたかもわかりませんが、羽生さんはこれまでいちばん多く戦っている相手です。130局以上

巻頭インタビュー

# 谷川 浩司

たにがわこうじ

## 王位獲得・千勝達成

神戸が誇る棋士・谷川浩司王位。弱冠21歳で名人の座を獲得して以来、数々のタイトルを獲得。平成9年には永世名人の称号を贈られた。終盤に見せる誤りのない寄せは「光速の寄せ」と言われ、多数の将棋ファンをうならせる。王位獲得と1000勝達成を機に、今後の抱負を伺った。

戦っていますし、お互いがお互いのことをよく分かり合っているという意味では、逆に安心してぶつかってける相手ではありません。棋界ナンバーワンの棋士ですから厳しい相手には変わりませんが、やり甲斐があります。それと、今の世界で活躍している世代が、31、32歳の羽生さんの年代ですから、この世代は常に意識しています。

——谷川さんは21歳で名人のタイトルをとられ、この記録は破られない。

——谷川さんは21歳で名人のタイトルをとられ、この記録は破られない。これは獲得されたタイトルで、心に残っているのが、21歳で名人を獲得したと、震災があつた年に王将戦を戦って防衛したこと、その2年後に名人戦に勝って通算5期で永世名人の資格を得たこと。この3つのタイトルは、これまでの中でも、特に記憶に残っていますね。永世名人については、資格を得るといふことで、引退してから名乗ることになります。

——将棋はプロになるより、アマチュアの方が楽しいと言われていますが、対局前というのは、相当のプレッシャーがあると思いますか。

もちろん、この世界に入ったの



10月20日、「将棋フェスティバル」での1コマ



は、将棋が好きで好きで仕方なかったということ。勝負には勝ち負けという結果が、必ずついてまわります。負けるのは辛いですが、勝つても負かした相手が、目の前にいるわけですから素直に喜ぶことはできません。お金をいただいて、職業で続けている訳ですから、楽しみが100パーセントという訳にはいきませんね。それはどんな世界でもいっしょでしょうけど。

——先生は、デュオドームで開催される「将棋フェスティバル」にたびたび参加されておりますね。このフェスティバルには、お子さんから大人まで、参加されていますが、皆さんをご覧になられまして、どのような感想をお持ちですか。

神戸に限らず、全国的にも夏休みの時期にはこのようなイベントが多いですね。初心者の方にはできるだけ優しく楽しく、強い人には少し厳しく接するようにしています。ここ神戸はおなじみのファンの方がおられますので、なつかしいというのが率直な感想です。私自身、子供のときにこのようなイベントに参加して、内藤国雄先生に指導していただいたことが、



写真提供＝神戸新聞社

ひとつのプロ入りのきっかけとなりました。以前は、プロの棋士の存在というのにも今ほど知られていませんでした。アマチュアの方が、プロの棋士と交流できるチャンスという意味では大きな意味があります。

——先ほど対局は、東京と大阪が多いというお話がありましたね。先生は神戸にお住まいですが、お住まいも首都圏の方が、都合がよいと思うのですが。

ひとつは震災があったということ

1962年、神戸市の住職の次男として生まれる。11歳で若松政和七段に入門。21歳史上最年少で名人のタイトルを獲得。97年には永世名人の資格を得る。「光速の寄せ」といわれる終盤の詰めには定評がある。

とで神戸への愛着が深まったということもあります。それと、いまタイトル争いをできる関西の棋士は少ないですからね。私が、東京へ移ってしまうと関西のタイトルがゼロになってしまうのでそれもよくないと思います。でもやはりいちばんの理由は、神戸が好きだからということではないでしょうか。

——1000勝の次の抱負をお聞かせください。  
今日の将棋フェスティバルのイ

ベントを見ていただいても分かりませんが、将棋は小さい子供さんから年配の方まで年齢に関係なく楽しめるゲームです。将棋ファンの層も幅広い年齢の方がおられます。これはプロの世界でも同じことが言えます。若い棋士もいれば年配の棋士も活躍するということが、いちばん望ましいのではないのでしょうか。私自身も40代、50代になってもタイトル争いができるように、息の長い棋士でいたいですね。

——谷川先生の活躍は、神戸市民にとっても大きな活力となりま。これからもひとつでも多くのタイトルを獲得していただきたいと思えます。ありがとうございます。

(デュオドームにて)



アマチュア棋士との対局をふり返る



## 斬新さではなく まちとの調和が大切

——神戸のまちには特別な思  
い入れがあると思いますが。

**和田** まず「住みたい神戸」  
であることが重要だと思っ  
ています。人が集まるところには  
活力が生まれます。「ともか  
く神戸に住んでもらう」その  
ための使命が我々にはあるの  
です。神戸に人が集まれば、  
自然と雇用も高まります。人  
のパワーがまちをつくらなけ  
れば意味がない。市主導のま  
ちづくりよりも市と住民が一  
体となったまちづくりに取り  
組んだ、岡本や南京町の方が  
発展しているのではないです  
か。残念な例として元町商店  
街があります。あの辺りは商  
売をしている人たちが、まち  
にほとんど住んでいません。  
だからまちに活力が生まれな  
いのです。100坪あれば、  
600坪の建物を建てること  
さえ可能なのです。それが1  
階に店をつくるだけで、上には  
何もつくらず有効活用がま  
ったくできていません。それ  
は所有者の意識の問題でもあ



インタビュー **和田憲昌** 和田興産株式会社 代表取締役

## まちに溶け込む 住宅をつくりたい

100年以上にわたり神戸、阪神間の住まいを提案し続ける  
和田興産。今や、神戸NO.1のマンションブランドとして  
不動の地位を築いた。和田憲昌社長に和田興産が  
神戸のまちに果たす役割を伺った。



ります。実にもつたない。  
これはまちにとつては損失だ  
と言えるでしょう。「神戸の  
元町で暮らす」ことはお洒落  
なことではあるはずですが、神戸  
はうまく機能させれば、まだ  
まだ再生できるはずなので  
す。そのためにはまず、そこ  
で生活し、販売している人た  
ちの意識を高めてもらうこと  
が必要です。そして「神戸の  
まち、私のまちの財産を粗末

に扱っている」ということに  
気づいてもらうことです。

——ワコーレはすでに神戸の  
ブランドとして定着した感が  
ありますね。

**和田** いえ、ブランドではあ  
りませんね。まだ知名度が  
いたに過ぎません。これから  
ブランドを目指していくので  
す。まちを開発するときには  
まず考えることは、斬新なもの  
は全体の2〜3割程度に抑さ



えるということですが、それらが、まち全体の雰囲気を感じていきます。つくりすぎるとそれまで住んでいた人と新しい住人が互いに疎外感を感じてしまいます。本当に長く神戸に住む人に、抵抗感を与えないことが、いちばん大切なことなのです。お洒落な雰囲気を演出しつつ、まちに溶け込むということを考えて、斬新で革新的な建物は2〜3割がちょうど良いのです。デザインのアイデアそのものは、建築家のパーソナリティに依る部分が多いのですが、あまりに供給側のエゴで押しつけてしまつと、住んでいる人は飽きてくるでしょう。ワコールでは瀬戸本淳先生の作品が多いですが、知り合ってから実際に仕事を依頼するまでには5年かかりました。「まちに溶け込む住宅をつくりたい」という信念の部分では、はじめから共通していました。それでもお互いの意見がかみ合うまでには、5年の歳月が必要だったのです。

## 土 地は本来 無料のもの何をするかに価値がある

——これからの5年先、10年先の取り組みはどう変わっていきますか。  
**和田** いままでどおりこれからも地域密着であることに変わりはありません。当社では数年間同じ場所にマンション

戦略を徐々に広げています。住まいはそもそも、幸せになるための住まいであるべきなのです。少子高齢化が進めば進むほど、高所得者から低所得者、高齢者から低年齢者へと需要の幅は広がります。しかも神戸は小さなまちながら、地域ごとに特徴があります。地域密着でなければわからないことも多いはず

ような理由もあると思われます。また、広島のある企業で働く外国人は神戸に住んで、新幹線で通勤する方もおられるそうです。そのようなことを考えましても、いかに神戸が外国の方にとって住みよいか証明されていると思えます。神戸空港が開港し、将来的には医療産業に携わる研究者や外国の方も神戸へやって来るものと思われま

## 「コミュニティ豊かな住みたいまち神戸」を提案していくこと

### 和田憲昌

和田興産株式会社 代表取締役  
 わだのりまさ 1938年神戸市生まれ。神戸商工会議所常議員。県立兵庫高等学校神戸武陽会会長。神戸慶應倶楽部会長。関西不動産三田会創設者(顧問)

ギャラリー(モデルルーム)を定点的に設置します。マンションギャラリーを単なる販売拠点ではなく、価格・大きさ・仕様など地域ニーズを受信する情報基盤として活用しています。現在、神戸を中心に、明石市から尼崎市まで15のマンションギャラリーを設置し、時間をかけて地域ニーズを深耕しながら地元密着の

なのです。

——2005年には神戸空港も開港いたします。医療産業都市構想にも大きな期待が寄せられています。

しでしょうか。神戸の次世代の国際化に向けて、「住みやすく、暮らしやすいまち」を提案していくことが、和田興産の役目であると考えております。

——和田興産の手がけるマンションに人が集い、新しいまちをつくる。その先導役として我々も大きな期待を寄せております。

(和田興産本社にて)

新発売 風格を醸し、洗練を極める、永住の邸。



「ワコール苜屋翠ヶ丘」  
 モデルルームグランドOPEN

お問い合わせは「ワコール苜屋マンションギャラリー」まで  
 0120-088-850  
 営業時間 10:00am~9:00pm 携帯電話・FAXからもご利用いただけます。

ワコーレシリーズのお問い合わせ ワコーレ情報館  
 0120-078-250  
 ホームページ <http://www.wadakohsan.co.jp>



美しさの饗宴「神戸ワイン」



スペシャル・赤  
(ライトボディ)  
1300円



セレクト・白  
(やや辛口)  
1160円



セレクト・ロゼ  
(やや甘口)  
1160円



セレクト・白  
(やや甘口)  
1160円



エレガント・白  
(辛口)  
1450円

ギフトに、お歳暮に。

—ラベルは、神戸の水彩画家、鹿児島容子がスケッチデザイン—

KOBE Wine

KOBE **KB** BRAND

※6本以上、送料無料

お問い合わせ先 株式会社 神戸ブランド  
TEL:078-351-0504 FAX:078-351-0510



## サンセンタープラザ 駐車場

さんプラザ・センタープラザ・センタープラザ西館及び三宮周辺でのお買い物の際は、大変便利なサンセンタープラザ駐車場をご利用下さい。

駐車料金 30分 **250円**

お問い合わせ先 神戸市中央区三宮町1-9-1  
サンセンタープラザ駐車場管理事務所  
TEL. (078) 332-3084

さんプラザ

センタープラザ

センタープラザ西館

神戸【三宮】





「朝の光」和紙ちぎり絵 田中悠子

# KOBECCO

No. 498 NOVEMBER 2002  
月刊神戸っ子 11月号目次

これは神戸を愛する人の雑誌です  
あなたのくらしに楽しい夢をおくる  
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ  
これは神戸っ子の心の手帖です

表紙=石阪春生「素描 トルコ桔梗 (女のいる風景)」

## 特集 神戸のすまい

- 6 巻頭インタビュー  
「まちに溶け込む住宅をつくりたい」  
和田憲昌 (和田興産株式会社代表取締役)
- 20 「山と海に抱かれた  
神戸のライフステージ」  
深川和美 (声楽家)
- 4 王位獲得・千勝達成  
谷川浩司インタビュー

## 特集 旧居留地

- 32 シャーリーン・ダイヤが歩く旧居留地界限
- 44 集って、食べて、飲んで宴会料理特集

## series

- 50 エッセレ・バンビーノ 神戸のクラシックカー④  
「気分は60'sレーサー」
- 52 提言座談会③こどもたちに残す神戸  
「ファッション都市神戸の新しい  
グランドビジョン」  
小田俱義 多田一郎 植木砂織 吉川稔 貞松雅保

## series

- 11 私の意見
  - 12 KOBECCO2002 Heaven Kissing / 西本淳
  - 14 コウベスナップ
  - 16 神戸JC先輩・後輩対談② 尤昭福×キラン・S・セティ
  - 18 ひと・場面 須磨一絃琴 / 井植文化賞授賞式
  - 40 神戸のお嬢さん 大迫めぐみさん / 中島早知子さん
  - 56 ある集い 神戸ブータン協会 / 神戸アーティストの会
  - 58 話題の広場 江戸あかり浮世絵 / ヴェルサイユ展
  - 60 神戸のモダンリビング 瀬戸本淳
  - 61 神戸のアーバンデザイン 高田昇
  - 62 耀く社長⑧ 高寄芳夫 (高寄商店)
  - 64 はるにゃんのHYOGO WALK 「アグリライフのすすめ」
  - 66 有馬歳時記 湯処・味処「康貴」
  - 68 イベントスケジュール
  - 70 ぴっといん
  - 72 ポケットジャーナル
  - 74 中村友一のワンス・アポン・ナ・タイム in 神戸  
「神戸クラブ その4」
  - 76 竹久夢二 愛・旅・恋ものがたり  
「心温まる『後日譚』」 中右球
  - 78 連載エッセー / コーヒーカップの耳⑤「縁」 今村欣史
  - 80 神戸っ子倶楽部法人会員ニュース
  - 82 パーラー北野「PIPPA ARANCIO」 「利宮館」
  - 84 神戸百店会
  - 85 神戸うまいもん&ドリンクング
- 写真=米田定蔵 池田年夫 松原卓也 米田英男



プロの世界にも愛用者が多い。  
500g缶800円 1kg缶1200円

鶏、豚などの特撰スープを基本に、新鮮野菜・高レベルな油など20種類のスパイスを調合

数千年の歴史の中で極められた本場の醍醐味が、家庭で味わえる。それが味覇。

## 廣記商行

南京町

本場の味を家庭に味覇は味の王様

し、味・コク・風味の3拍子が揃った高級中華スープの素。和・洋食にも使え、味の世界が広がる、まさに神戸にふさわしい品。本場中国の秘味が、家庭で華開く。



廣記商行  
南京町本店  
☎078-331-1114  
神戸市中央区元町通  
1-1-4  
【営】9:00～19:30  
【休】無休

ギフト特集  
この冬に  
贈る真心に  
「粹」をそえて

## 佃真本店

六甲

本物だけが生み出す味  
天然昆布の佃煮

養殖ものが氾濫する現代にあつて“本物の味”を伝えたいと、主人自ら北海道で直接買い付ける道南の尾札部川汲産天然最高級白口真昆布だけを使用する。

天然昆布は独特の舌ざわりと喉ご



舌で味わったあとも余韻の残るおいしさ。塩昆布700円・塩吹細切昆布1000円(各100g)、贈答品に最適

しよさが身上。口に入れるといっぱいに広がる自然の香りは、海の恵みをそのまま味わう感覚だ。製造直売店ならではの安心感があり、豊富な品揃えと幅広い価格設定であらゆるシーンに対応する。

佃真本店  
☎078-851-9472  
神戸市灘区森後町3-3-18  
【営】10:00～18:00 【休】日曜  
御影店  
☎078-821-3351  
神戸市東灘区御影塚町3-10-11







たかさきまさひろ

1935年、兵庫県生まれ。59年神戸大学経営学部卒業後、神戸銀行入行。79年太陽神戸銀行芦屋支店長、82年浜松町支店長等を経て、89年取締役大阪支店長となる。その後、90年に太陽神戸三井銀行取締役大阪支店長、92年さくら銀行常務取締役、94年専務取締役、97年代表取締役会長、01年三井住友銀行相談役を歴任し、02年より特別顧問。01年11月神戸商工会議所・副会頭に就任。

●創造的復興への繋がり

# 神戸ブランド

## 高崎正弘

神戸商工会議所副会頭

### 先

日、さる所で友人と食事を共にしていた時のこと。その時の手土産に悩むことが多い」との話がでた。なるほどそう言われてみると、私も東京出張の際に「ちょっと何か神戸らしいものを」と思っても大抵は手近なところで適当に事を済ませることが多い。

古くから所謂「神戸らしいもの」は実は数多くある。子供の頃の味が忘れられない瓦煎餅から、洋菓子類、神戸牛、灘のお酒等々である。ただその多くは全国ブランドとなりわざわざ神戸から提げてきたと思われな

いのが悩みでもある。たべもの以外にも神戸といつてすぐ思い浮かぶものに、港、六甲山、有馬温泉、アパレル・真珠・ケミカルシューズといったファッション類などユニークなものが多々ある。

このようなものが寄り集まって長年の間に神戸の明るいハイカラなイメージが出来上がってきたことは間違いないが、近年、オール東京化の流れのなかでこのような神戸らしさがどんどん失われていくような寂しさを覚えるのは私だけであろうか。

その根底には震災の後遺症と産業構造の調整圧力が相互に共鳴する経済の停滞があることは間違いない。

しかしこのような苦境をバネとして、次の時代を担う新しい芽が育っているのも事実である。

会議所の関係で若い創業者のお話を伺う機会が間々あるが、勇気付けられることも多い。彼らが目指しているジャンルの多くは、高齢化社会における健康や福祉、環境問題やデジタルデバイス等これからの時代に避けて通ることの出来ないテーマを切り口とするもので、大切なことはこのようなニッチな動きを、周囲の関係者も一緒になって一つでも多く新しい神戸の財産にまで高めていくことである。

おりしも地元ではいくつかの特区構想が打ち出され、とりわけ先端医療分野では既に一部事業化が進みつつある。この流れに若いエネルギーをも巻き込みながら裾野の広い関連産業の集積を図り、「先端医療、健康・福祉、環境のことなら、まず神戸に聞き、神戸に行け」といわれるような新しい神戸ブランドを築き上げていくことが、後世の評価に値する創造的復興に繋がるものと信ずる。

来年はファッション都市宣言三周年を迎える。通信技術や物流の高度化で地球が小さくなる中、ブランドの創造維持の方策は如何にあるべきか、お互いに問う機会としたい。

# 夢を感じてほしい

## Heaven Kissing (ヘブン・キッシング)

やまもとゆうこ(ソルト)  
ヨークコ(ソラノ)  
香門 敬子  
(メソソプラノ/アレンジ)

1990年に神戸で誕生したジャズコーラスグループ「ヘブンキッシング」。5年ぐらいい前にリーダーの香門さんがオーディションを行い、今のメンバーが結成された。香門さんがオリジナルアレンジで楽譜をつくり、アカペラ、時にはピアノトリオとの編成などで定期的にライブ活動をしている。9月には、シアター

ドラマシティでコンサートを行なった。スタンダード・ジャズを中心に、映画音楽など様々な曲を歌う。時には「津軽海峡冬景色」や「サザエさん」なども。お客さんは同年代だが、年配の人や若者と幅広い。「同年代の女性は子育てや家事で、自分のやりたいことを諦めてしまっている人が多い。だから自分たちの活動を見て、あきらめないでチャレンジしてほしい。やりたいと思った時に、行動をおこしてほしい」メンバーみんなと同世代の女性へのメッセージ。それぞれがとて若々しく、言葉の端々にパワーがみなぎっている。

同年代の女性に限らず、多くの人が、彼女たちから、彼女たちの歌から、何かしら影響を受けることだろう。それは歌うことを楽しみ、人に何かを伝えようとするその熱い想いが美しいコーラスに乗って皆の心に届くからであろう。12月には、小さな喫茶店でア・カペラ・クリスマスライブを行なう。生のコーラスを肌で感じ、彼女たちの思いを受け止めてみてはどうだろう。

〈川上〉

■喫茶店 珈琲 そら ライブ情報  
人数限定約15名 要予約  
12月6日(金) 7:00~8:30 / 12月7日(土) 7:00~8:30 完全入替制  
■ライブ問い合わせ  
スタジオ ヘブン・キッシング  
☎078・302・4564  
その他ライブ予定あり



# 職人的なこだわりを

## 西本 淳

サクソフォーン奏者



クラシックサクソフォニストとして、各地のホールやライブハウスで演奏している。畑儀文さんが主催する「丹波の森音楽祭シユーベルテイアーデたんば2002」では、「今年のフランツ（シンボルアーティスト）」として招待された。

サククスに出会ったのは、中学校の吹奏楽団で。しかし大阪音楽大学

に入学してからは、迷いの連続だったという。「自分は音楽家に向いていないのではないかと。というより、自分の演奏があまりにつまらなくて、自分の音楽に飽きてしまったんでしようか」。それでも、周りの人々に支えられ、今できることはこれしかない、と、大学院に進むことを決めてからはひたすらサククスを手に突っ走ってきたと話す。

「サククスは歴史的には新しい楽器なので、まだまだ新しい分野を開拓できることが嬉しい。最近では現代音楽や、ロマン派の古典音楽をアレンジして演奏することもあります。現代音楽も、バッハも、音を聴いて感じる点では同じ。どちらも同じくらい好きです」。今は、11月に予選が行われる日本管打楽器コンクールに向けて、練習の毎日だ。落ち着いたら、小さなリサイタルなどを自分で企画したいとか。

夢を聞くと、「サククス吹きでなく、アーティストとして、細部にまでこだわっていききたい。前に陶芸教室に通っていて、その先生がとてもこだわりのある職人的な方で。なかなか作品が成功しないんです。そういうこだわりのある演奏家になりたい」。言葉をゆっくりと選んで話した。

〈鳥羽〉





兵庫県俳句協会五十周年記念俳句講座



五・七・五のことは世界、兵庫県俳句協会50周年を記念して、俳句講座が開催された。講師は山田六甲さん、小路紫峯さん、和田悟朗さん、伊丹三樹彦さん、澤井我來さん。集まった人々は熱心に耳を傾けた。8月24日よみうり神戸文化センターにて



酒蔵巡りバス発進 9月21日～11月24日の間、JR六甲道駅を出発し、沢の鶴資料館、酒心館など灘の酒蔵を巡るバスが登場。レトロなグリーン色のボンネットバスは街角でも話題に(写真/長尾裕)



海の安全を守る 10月19日、魚崎浜の阪神基地で、海上自衛隊哨戒ヘリコプターの体験搭乗が行われた。HSS-12Bに乗り込んだ一般市民は、明石海峡をのぞく空中遊覧を楽しみ、海上自衛隊への理解を深めた



山下博洋画展 10月2日～8日、神戸阪急美術サロンで、フランス在住の山下博さんの個展が開催された。風景画をはじめ、ヨーロッパの風物など旅情豊かに描かれた水彩画や油彩画が並んだ

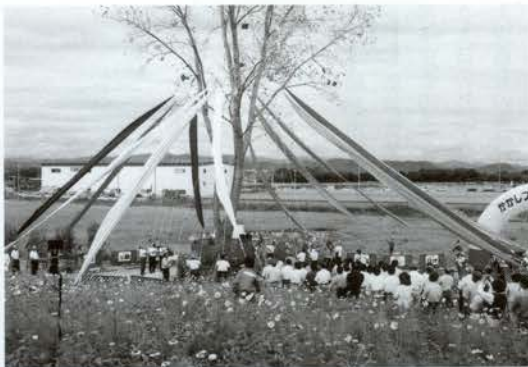


清水春吾展 10月15日～27日、北野Pocket美術店で清水春吾さんの個展が開かれ、さまざまな画材で描かれたカラージュエリーや油彩画が並んだ。見えるものと、大きく違って見えないもの、その世界は計り知れない

上海料理「運」一周年 飲茶バイキングをはじめ、安くておいしい上海料理で人気の北野坂の上海料理「運」が、開店一周年を迎え、10月1日パーティーが行われた。歌手の范丹陽さんの華やかなステージで、大いに盛り上がった。写真上は、あいさつするママの明秋さん







花と緑のまちづくり 9月14日、小野市ひまわりの丘芝生広場で「第2回ひょうごローラフェスタ」のオープニング式典が、北播磨21世紀記念事業「ハートランドフェスタ2002」オープニングと同時に開催された。シンボル樹のやまならしの木もお披露目された



ブラジル優勝を祝しサンパレレード、サツカーW杯ブラジル優勝を祝しサンパレレードが、10月13日行われた。かつて神戸港から船出したブラジル移民が辿った、旧ブラジル移民センターから移住者の像までをサンパレレードと音楽隊が賑やかに南下。メリケンパークではミニフットサル大会などが行われた

小磯良平回顧展開幕 神戸市立小磯記念美術館の開館10周年と、読売新聞大阪発刊50周年を記念し、小磯良平の初期から晩年までの代表的な作品を一堂に展示する本格的な回顧展が10月5日に開幕。12月1日まで



元町が音楽にあふれた2週間 元町商店街を中心に、10月5日〜20日元町ミュージックウィークが開催された。街角で、ホールで、店で、クラシックやジャズ、ゴスペル、民謡などの音楽が奏でられた。写真右は1丁目の丸太や、左は喫茶店サ・ソ・ボンでのリコーダーアンサンブルのライブ





「これからの神戸は、  
医療特区、貿易特区であるべきです。」  
尤

ゆう しょうふく 1947年神戸市生まれ。福大実業(株)代表取締役社長。84年に26代理事長を務めた。

## 国

際都市神戸の再生はいかに。神戸青年会議所の45代理事長予定者のキラン・S・セティ氏は2人目の外国人理事長になる。外国人理事長の先輩にあたる尤昭福先輩と共に、国際都市・神戸の将来像をお話しいただいた。

## 神戸に求められる本物の国際化

キラン 僕は神戸で生まれ育ったので、完璧な外人という意識ではないと思うのです。神戸のいちばんの魅力は住みやすさです。仕事で日本中飛び回っていますが、歩いていて僕らが指を指されないのは神戸だけです。ターバンと髭が珍しいのでしょうか(笑)。本当の国際都市とは何かということを考えて、その形はすでに神戸にはできていると思うのです。外国人の学校もクラブもたくさんあり

ます。隣にいて知らない間に外国人同士がふれあうような雰囲気です。それが神戸にはあるのですから、ニューヨークやロンドンのようになれると思うのです。しかし「国際」といつている間は、本当の国際化はできていないのだと思いますね。

尤 日本の国自身は、平安時代から国際的な要素を持っていて、外国のものをそのまま取り入れる土壌があったのです。例えば都は唐の都を模しているし、明治になるとヨーロッパの文化や政治を全部取り入れていきます。そして戦争に負けた途端に、今度はアメリカ文化に染まりました。日本はオリジナリティが足りない代わりに、国家のシナリオから生き方、生活文化、芸術まで、よその国のものうまく取り入れて、自分なりのシナリオをつくる国際国家なのです。

## 神戸JC 先輩・後輩対談②

# キラン・S・セティ × 尤 昭福

2003年度45代理事長予定者

26代理事長

日本人が自分の国際性をどう考え、活かしていくかが本当の国際性なのです。そのベシックな部分として、意識せずに自然に国際化できていれば、神戸は完全に他の都市とは違ってくるのだと思います。

キラン 僕がハイスクールに行っていた頃は、日本の大学に入学することができなかったのです。上智とICUだけに国際部があったのです。だから大学に行こうとするとその2校か、イギリスかアメリカの大学ということになっていました。僕はアメリカの国籍がありますので、自然にアメリカの大学を受験することになりましたね。うちの子供も最初は日本の学校に通わそうと考えていたのですが、やはり外見の差など、日本の学校では厳しいものがあると思

い、小学校からインターナショナル

尤

ル・スクールに通わせました。僕の家内は日本人なのですが、いじめられるのではないかと心配したのです。どこに行っても見た目が違ったらいじめられるものです。ただそれは自分の対応次第でもあります。外国人にもふたつのタイプがあって、環境にうまくあわせていけるタイプと、そうでないタイプがあります。それは性格などの差もありますが、どちらが得かと言えば、楽しんで生活できる方がいいに決まっています。

## 医療産都市構想と神戸空港が果たす役割

尤 外国企業誘致を推し進めるためには、結局は特区が必要になってくるのだと思います。中国経済がここまで伸びてきているのは、特区を設けたからです。中国より先にそれをやったのが台湾です。



日本から技術や資本を持ち込んで、急激な経済発展を遂げました。それを今度は、そのまま中国に持ち込んでいます。神戸も昔から港があるということは特区なのです。ただ単に港を開けば国際性が出てくるのではなく、特区を設けることが必要なのです。これから神戸は、医療特区であるべきです。貿易特区でもあるべきなのです。規制や制限が軽くなれば、簡単に先端国際都市ができる話なのです。

年代の人々も集まって来ます。有識者と、裕福な人々が集まれば、企業もやってくるでしょう。尤 医療産業都市構想そのものはまだ時間がかかるでしょうね。急速に発展させることは非常に難しいと思います。構想のなかで神戸の中小企業がどう関わってくるかが重要です。神戸で働き、暮らしている人々のなかに、うまく医療産業都市構想を浸透させていくことがまず必要なのではないでしょうか。昔の神戸港がそうであったように、いまある技術や情報と、新しいものが触れ合い化学反応を起こすことにより、新しい文化が起こらなければならない。それが国際都市のあるべき姿だと思います。

## 国際都市・神戸の再生を考える

まず株主に対して責任を持てる経営者が入るからです。結局お客さんは誰かという点、航空会社とカーゴの運送業者、搭乗者すべてです。この人たちをどうやって喜ばせるかということだけだと思っています。尤 僕は個人的に飛行機をよく利用する仕事をしていますが、神戸空港ができると、家から車で15分で飛行機に乗れるのは非常にありがたいことだと思っています。ただそういう需要があっても、マーケティングや商品づくりをちゃんとしなければ、難しい部分があると思います。せつかく大きなエリアが対象にあるのですから、いい商品をつくってほしい。神戸空港を含めて都市としての魅力をつけるには、日本のなかでの神戸が中途半端では駄目です。大胆な都市でなければならぬと思います。

のは、先輩やファミリーへの感謝と地域にリーダーを育てたいという思いが、強かったからです。外国企業の誘致のためには、もっと住みやすくしてあげるのが第一だと思っています。尤 経営者も人間ですから、家族の住みやすさを考えますよ。せつかく神戸にはきれいな土台があるのですから、うまく活かしてほしいですね。



鶴殿麻里絵さんと共に(松適家にて)

「外国企業の誘致のためには住みやすくしてあげるのが一番。」

キラン

キラン・S・セティ (株)  
ジュビターインターナショナルコーポレーション取締役専務。2003年度、45代理事長予定者。





須磨琴を演奏する小池美代子さん（左）、三浦徳子さん

# 兵庫・沖縄友愛提携30周年

## 沖縄の海に響いた須磨一絃琴の音色

**今**年は兵庫・沖縄友愛提携30周年の記念すべき年。さまざまな催しが行われたが、その中で、神戸を代表する伝統芸能のひとつであり、兵庫県指定無形文化財である須磨琴の技術保持者である小池美代子さんと三浦徳子さんが招かれ、9月16日、沖縄で演奏会が開催された。

兵庫・沖縄友愛提携30周年記念事業の一環として、沖縄で小池美代子先生と須磨琴の演奏をさせていただいた。

お話を聞いた時、沖縄で鎮魂の曲を弾きたい、と思った。須磨寺の前管長小池義人先生が作詞なさり、奥様の美代子先生が作曲なさった「青葉の笛」に「若き御魂の安かれと祈りて」という歌詞がある。勿論これは800年前の須磨一の谷で討死した平敦盛をうたったものである。しかし沖縄で先の大戦でなくなった沢山の女学生も似た年頃である。このかたたちの鎮魂の為に、どうしても沖縄で弾かせていただきたいとなった。八千代どり、平家抄、青葉の笛と

3曲演奏した。心をこめて「若きみたまの安かれと祈りて」と歌い弾いた。

沖縄の方々はとても静かにそしてとても熱心に聴いて下さった。会場の都合で大勢とはいいがたかったけれど、弾きながら聴衆の身体が私共のほうにむかって前傾していらっしやるのが、よくわかった。口に出して沖縄の若い人々の鎮魂の為ですわねといっただけでも私共が一生懸命心をこめて演奏したのを死者は汲んで下さったと思っている。

翌日、保存会員のお知合いの方が知念の海を見につれて行って下さった。グラスボートに乗って海底を見ると美しい魚が群れ泳いでいる。底のほうに台風で吹き飛ばされた枝珊瑚の残骸が無数にちらばって、若くして戦いに散った人々の骨のような気がして無性にかなしくなり、胸が詰まった。しかし沖縄の景色は人間の喜びも哀しみもつつみこんで、どこまでも芽えた青い空と深い海の色がひろがっていた。

須磨琴保存会 三浦徳子





# 第26回井植文化賞表彰式

社会の発展に貢献した県ゆかりの6団体・個人を表彰

10月5日、財団法人井植記念会（井植貞雄理事長）主催の第26回井植文化賞表彰式が、神戸市垂水区青山台の井植記念館大ホールで行なわれた。今年の受賞者は次のとおり。

【文化芸術部門】

山田脩二

（淡路かわら房主宰）

【科学技術部門】

富永圭介

（神戸大学分子フォトサイエンス研究センター教授）

【社会福祉部門】

家庭養護促進協会

（理事長今井鎮雄）

【地域活動部門】

一紋須磨琴保存会

（会長小池弘三）

【報道出版部門】

有限会社月刊神戸っ子

（取締役編集長小泉美喜子）

【国際交流部門】

張文乃

（特定非営利活動法人国際音楽協会理事長）

## 井植文化賞表彰式



受賞団体の中から須磨琴保存会のみなさんが演奏を披露。受賞者と関係者、選考委員らが出席し、式のあとに歓談。

受賞者には、井植貞雄理事長より、賞状及びプロンズ像、副賞の賞金が贈られた後、受賞者を代表して小泉美喜子氏が喜びの挨拶を述べた。この後の懇親会では、受賞者、選考委員ら約70名が歓談、それぞれに受賞を祝った。